

第92期 中間報告書

平成28年4月1日 ▶ 平成28年9月30日

目次

株主の皆様へ	1
トピックス	3
連結財務諸表の要旨	7
業績等(連結)の推移	8
株主メモ	9
会社概要・株式の状況	10



新日鐵住金

しんにってつすみきん

株主の皆様へ



代表取締役社長 **進藤 孝生**

株主の皆様の日頃の御理解・御支援に、心より御礼申しあげます。
鉄鋼業界を取り巻く環境は、中国の過剰生産能力問題に加え、原料炭価格の急騰等、非常に厳しい状況となっております。こうした環境下ではありますが、「技術力」「コスト競争力」「グローバル対応力」を競争優位性の柱に、国内事業と海外事業を車の両輪として成長を目指す中期経営計画を着実に推進しております。

(当上半期の事業・決算の概況)

平成28年度上半期(本年4月1日から9月30日まで)の事業の概況につきまして、御報告申しあげます。
当上半期の世界経済については、米国は個人消費等を中心に堅調に推移し、欧州は緩やかな回復が継続しました。一方、中国は政府の景気対策の効果が見られるものの成長鈍化傾向が継続し、全体としては力強さを欠き、緩やかな成長に留まりました。

日本経済については、個人消費は低調に推移しましたが、雇用環境が改善していることに加え、企業の生産活動に持ち直しの動きが見られるなど、底堅く緩やかな回復が継続しました。

国内鉄鋼需要については、建設向けの回復の遅れに加え、熊本地震の影響があった自動車など製造業向けが低調に留まったこともあり、前年同期に比べて減少しましたが、足下は建設向けや自動車向けを中心に増加しており、全体としても第1四半期を底に第2四半期は増加に転じました。

海外鉄鋼需要については、アセアン諸国で緩やかな回復が見られましたが、中国では足下で内需に底打ちの兆しはあるものの減少傾向が継続し、世界全体では横ばいに留まりました。

国際市況については、年初に底を打ち、回復基調が継続しました。

こうした状況下、当上半期の連結業績につきましては、売上高は2兆1,607億円、営業利益は178億円、経常利益は280億円及び親会社株主に帰属する四半期純利益は110億円となりました。

(当第2四半期末の剰余金の配当)

当第2四半期末の剰余金の配当につきましては、配当の基本方針に従い、第1四半期決算発表時(本年7月28日)に公表致しましたとおり、誠に遺憾ではありますが、実施を見送ることとさせていただきます。

(今後の見通し)

世界経済については、米国は個人消費を中心に堅調を維持し、欧州は景気の緩やかな回復が続く一方、中国の成長鈍化が継続し、全体としては緩やかな成長になるものと想定されます。

日本経済については、個人消費が伸び悩むものの、政府の経済対策の効果に加え、企業の設備投資に持ち直しの動きがあり、緩やかな回復が見込まれます。

平成28年度下半期については、国内鉄鋼需要は、自動車分野の復調やオリンピックを見据えた建設需要の増加等、緩やかながらも底堅い回復が見込まれます。海外鉄鋼需要は、中国内需に底打ちの兆しが見られ、アセアン諸国やインドでは堅調な増加が見込まれます。また、国際市況については、足下の原料炭価格急騰を受け、今後、市況価格への反映が進んでいくものと想定しています。こうした状況下、自助努力を超える原料炭価格の高騰に対しては、再生産可能なマージンを確保するために、最大限の経営努力を継続していくとともに、鋼材価格の改定につきまして、需要家の皆様に御理解をいただけるよう丁寧な対応を図っていく所存です。

平成28年度通期の連結経常利益は、第1四半期決算発表時に公表した1,300億円を目指したいと考えております。

また、当期末の配当につきましては、第3四半期決算発表時に、年度見通しの当期純利益を踏まえて判断し、公表する予定です。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ、以上の諸事情を御賢察のうえ、今後とも御理解と御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

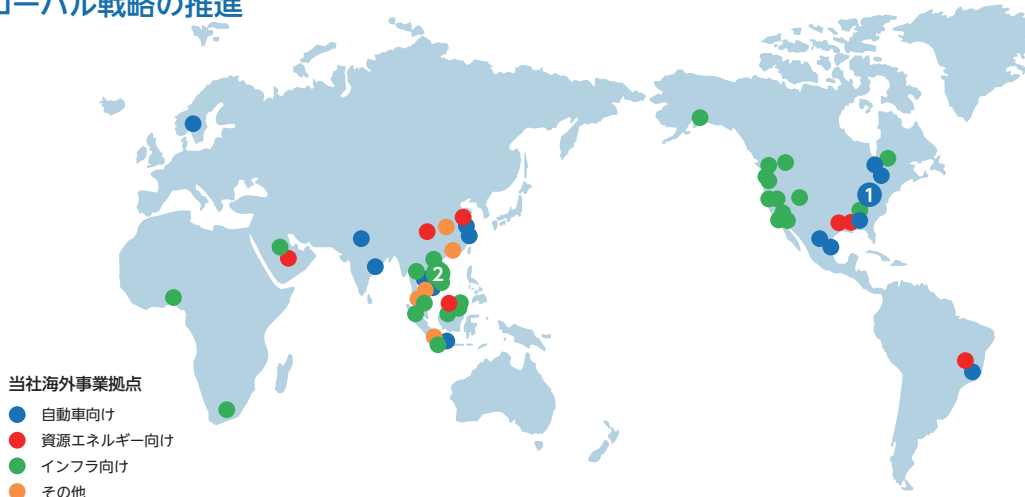
トピックス

当上半期における当社グループの活動状況を御紹介致します。

製鉄事業

中期経営計画で掲げた諸施策等の推進状況を御報告致します。

■ グローバル戦略の推進



米国冷間圧造用鋼線の製造・販売会社(NSCI社)が起工式実施(図①)

当社は、米国で主に自動車用のボルト・ナット等に使用される冷間圧造用鋼線の製造・販売を行うNSCI社の起工式を本年6月に行いました。タイ、中国に続き3拠点目となる海外二次加工工場として平成30年1月の量産開始を予定しており、日系自動車・部品メーカーの生産拠点への供給体制を充実してまいります。



起工式の様子

タイ建材薄板製造・販売会社における第3溶融めっきラインの新設(図②)

当社とブルースコープ社のタイにおける合併会社(NS BlueScope (Thailand) 社)は、本年9月に第3溶融めっきラインを新設することを決定しました。これにより、溶融アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板及びカラー鋼板の製造能力を増強し、伸びゆくタイの建材薄板需要を捕捉してまいります。



NS BlueScope (Thailand) 社

オイルメジャー3社との長期販売契約を更新

当社は、優れた商品の供給、トータルソリューションの提案力等が高く評価され、オイルメジャー3社（シェル社、BP社、スタトイル社）との油井管の長期販売契約を更新しました。引き続きグローバルマーケットにおける当社ポジションの維持拡大を追求してまいります。



シームレスパイプ

メキシコ天然ガス海底パイプライン用鋼材の大量受注

当社は、三井物産(株)とともに、米国テキサス州からメキシコ中部まで天然ガスを輸送する海底パイプライン用の大径溶接鋼管及びその素材である厚板（*）を、合わせて約60万トン受注しました。この海底パイプラインの全長は約780kmにも及び、日本の東京・山口間の距離に相当します。今後も資源エネルギー分野での高級鋼の需要を着実に捕捉してまいります。

(*）メキシコの鋼管メーカーにて造管



海底パイプライン

ドール社向けブリキ（容器用鋼板）の累計出荷量200万トン達成

当社は、本年5月に、パイナップル缶詰世界最大手であるドール社へのブリキ（容器用鋼板）の累計出荷量200万トンを達成しました。当社は、食品容器素材としての高い品質等が評価され、ドール社に対し、昭和37年の取引開始から50有余年にわたり、ブリキをシェア100%で供給しています。



200万トン目の
ブリキコイル



当社材を使用する
ドール社の製品

■ 技術先進性の発揮

チタン薄板がHonda二輪モトクロッサーの燃料タンクに採用

当社のチタン薄板が、プレス成形性・溶接性等の優れた性質を認められ、HondaのモトクロッサーCRF450R最新モデルの燃料タンク素材として採用されました。量産二輪では、燃料タンク本体へのチタン材の採用は世界初となります。



Honda CRF450Rの
燃料タンク部



Honda CRF450R

■ 国内マザーミルの競争力強化

鹿島製鐵所第1コークスF炉が稼働

鹿島製鐵所にて、第1コークスF炉が本年8月に完成し、稼働を開始しました。この新コークス炉の増設で、生産能力を向上させ、コークス外部購入の削減等により、グローバル競争を勝ち抜く鉄源競争力の確保を図ってまいります。



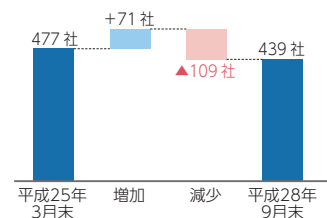
増設した第1コークスF炉

■ 製鉄事業グループ会社の体質強化

製鉄事業グループ会社においては、グローバル戦略推進による増加はあるものの、「選択と集中」を着実に実行しております。

分野	統合した会社	統合後の会社名	実施時期
建材	日鐵住金建材(株)と 日鐵住金コラム(株)	日鐵住金建材(株)	平成28年4月
鋼管	日鐵住金ファインテック(株)と 日本チューブラープロダクツ(株)	日鐵住金精密加工(株)	平成28年7月

グループ会社数推移



エンジニアリング事業

新日鉄住金エンジニアリング(株)は、大型物流施設の建設工事に積極的に取り組んでおります。今後も鋼構造エンジニアリング力と鉄の知見を活かした商品・技術の提供を行ってまいります。



柳プロパティーズより受注した大型物流施設
【アイ ミッションズ パーク 堺】

化学事業

新日鉄住金化学(株)は、イオン交換樹脂をはじめ、合成ゴム、ABS樹脂向けなどの旺盛な需要に対応するため、ジビニルベンゼン製造設備の能力増強を実施し、稼働を開始しました。



ジビニルベンゼン製造設備

新素材事業

新日鉄住金マテリアルズ(株)は、強度・剛性・耐衝撃性と加工性を合わせもつ炭素繊維熱可塑性プリプレグ「NS-TEPreg™」を開発しました。電子機器や機械部品、医療用装具、スポーツ用具等で展開を図ってまいります。



炭素繊維熱可塑性プリプレグ「NS-TEPreg™」

システムソリューション事業

新日鉄住金ソリューションズ(株)は、北九州地区にITアウトソーシングサービスの運用拠点「NSFITOS Center (エヌエスフィットスセンター)」を開設しました。東京地区との2拠点化により、堅牢でセキュアなITアウトソーシングサービスを提供してまいります。



「北九州データセンター」



「ITOセンター西日本」

お客様のITインフラ運用業務をワンストップで実行
NSFITOS Center

環境・社会への取組み

■ 環境

君津製鐵所プラスチックリサイクル累計100万トン達成

君津製鐵所におけるプラスチックリサイクルが、本年8月に累計100万トンに到達しました。当社は全国7製鐵所で廃プラスチックのリサイクルを行っており、全国の自治体回収量の約3割を処理しております。

詳しくは特設サイト「発見!製鐵所のプラスチックリサイクル」をご参照ください。
<http://www.nssmc.com/csr/plastic-recycle/>



回収された廃プラスチック



コークス炉

「回収された廃プラスチックをコークス炉で熱分解し、炭化水素油（プラスチック原材料等）、コークス、コークス炉ガスとして回収し、100%利用」

■ 社会

釜石市上中島地区における復興事業への参画

釜石市と当社、新日鉄興和不動産(株)は、上中島こども園・すくすく親子教室・上中島児童館の一体整備事業の実施に関する協定書を締結しました。本整備事業は三者が共同で取り組んだ上中島町復興公営住宅整備事業I期・II期に次ぐ、同地区における3件目の復興事業となります。



整備事業の完成イメージ図

連結財務諸表の要旨

■ 連結貸借対照表

(単位：億円)

科目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成28年9月30日現在)
資産の部	
流動資産	18,200
固定資産	43,590
資産合計	61,791
負債の部	
流動負債	15,891
固定負債	17,352
負債合計	33,243
純資産の部	
株主資本	25,057
その他の包括利益累計額	1,173
非支配株主持分	2,317
純資産合計	28,548
負債純資産合計	61,791

■ 連結損益計算書

(単位：億円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)
売上高	21,607
売上原価	19,185
売上総利益	2,422
販売費及び一般管理費	2,244
営業利益	178
営業外収益	643
営業外費用	541
経常利益	280
特別損失	91
税金等調整前四半期純利益	188
法人税等	21
四半期純利益	167
非支配株主に帰属する四半期純利益	57
親会社株主に帰属する四半期純利益	110

■ セグメント情報 (平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)

(単位：億円)

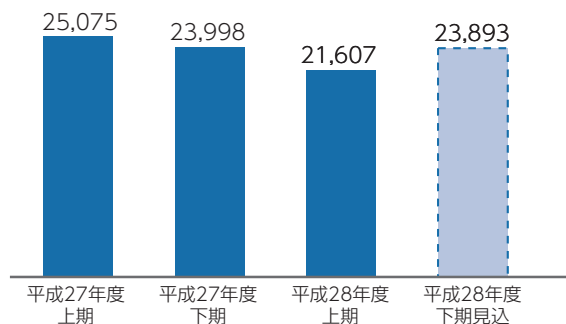
	報告セグメント					合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額
	製鉄	エンジニア リング	化学	新素材	システム ソリューション			
売上高	19,008	1,165	812	171	1,060	22,219	△611	21,607
セグメント利益 (経常利益)	140	15	8	7	103	275	4	280

※金額については、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。

業績等(連結)の推移

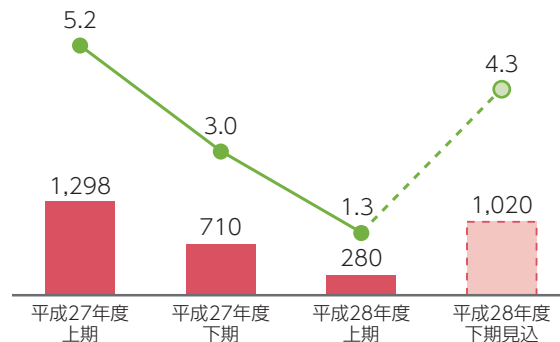
売上高

■ 売上高(億円)



経常利益

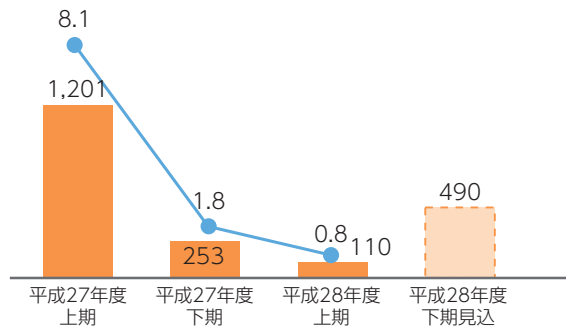
■ 経常利益(億円) ● ROS(売上高経常利益率：%)



親会社株主に帰属する当期純利益

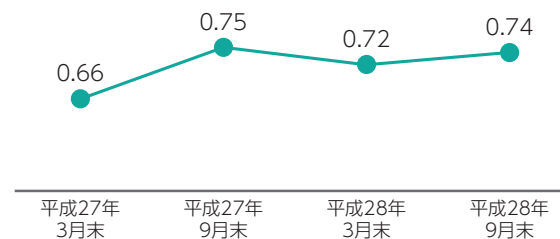
■ 親会社株主に帰属する当期純利益(億円)

● ROE(自己資本利益率：%)



D/Eレシオ

● D/Eレシオ(有利子負債自己資本比率：倍)



<平成28年度通期業績見通し>

平成28年度通期の連結業績は、売上高は4兆5,500億円、経常利益は1,300億円、親会社株主に帰属する当期純利益は600億円を見通しております。

株主メモ

配当の基本方針について

当社は、業績に応じた利益の配分を基本として、企業価値向上に向けた投資等に必要な資金所要、先行きの業績見通し、連結及び単独の財務体質等を勘案しつつ、第2四半期末及び期末の剰余金の配当を実施する方針と致しております。〔業績に応じた利益の配分〕の指標としては、連結配当性向年間20～30%を目安と致します。なお、第2四半期末の剰余金の配当は、中間業績及び年度業績見通しを踏まえて判断することとしております。

株主優待について

当社は、株主の皆様への御支援に感謝するとともに、当社グループの活動に関する御理解をより深めていただくこと等を目的として株主優待制度を導入しております。

詳細につきましては、対象の株主様に御案内申し上げます。

見学会・説明会

項目	内容	案内回数 (実施時期)	案内対象
工場見学会 への招待 (抽選)	製鉄所、製造所の見学に招待致します。	年2回案内 (3～4月頃、 10～11月頃)	毎年3月末・9月末において 1,000株以上所有の株主様
経営概況説明会 への招待 (抽選)	東京・大阪をはじめ、各地で開催致します。	年2回案内 (2～3月頃、 7～9月頃)	

各種優待

項目	内容	案内回数 (実施時期)	案内対象
当社カレンダーの 送付	当社カレンダーを送付致します。	年1回送付 (11月下旬～ 12月初旬)	毎年9月末において 500株以上所有の株主様
鹿島アントラーズ 観戦招待 (抽選)	J1リーグ戦 (ホームゲーム又はアウェイ ゲーム) に招待致します。	年2回案内 (4～8月頃、 8～12月頃)	毎年3月末・9月末において 5,000株以上所有の株主様
紀尾井ホール演奏会 への招待 (抽選)	〔紀尾井シンフォニエッタ東京(*)〕の定期演奏 会をはじめとした各種演奏会に招待致します。	年2回案内 (4～7月頃、 9～2月頃)	

(*)平成29年4月より「紀尾井ホール室内管弦楽団」に改称

単元株式数の変更について

Q なぜ単元株式数が1,000株から100株に変更になったのですか？

A 全国の証券取引所は、市場利用者の利便性の向上等を目的に、国内上場会社の普通株式の売買単位（単元株式数）を100株に統一する「売買単位の集約に向けた行動計画」を推進しており、上場会社は平成30年10月までの対応が求められています。当社はこの取組みの趣旨を踏まえ、平成27年10月1日をもって、単元株式数を1,000株から100株に変更致しました。

一方、当社の単元株式数を100株へ変更するにあたり、単元株式数の変更後も、売買単位あたりの価格の水準を維持し、また各株主様の議決権の数に変更が生じることがないよう、当社株式について、平成27年6月の株主総会にお諮りし、同年10月1日をもって、10株を1株にする併合を行いました。

単元株式数の変更及び株式の併合

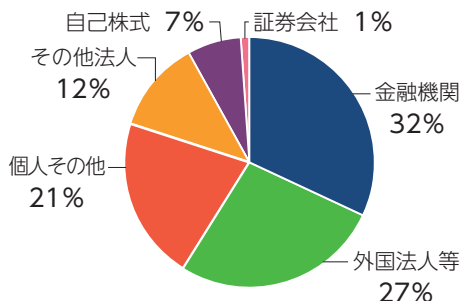
	変更前	変更+併合後
単元株式数	1,000株	100株
×		
株価（仮定）	200円	2,000円
×		
売買単位あたりの価格	20万円	20万円
議決権数	1個	1個

会社概要・株式の状況

会社概要

商号	新日鐵住金株式会社 (NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION)
本店所在地	東京都千代田区丸の内二丁目6番1号
資本金	4,195億円
事業内容	製鉄、エンジニアリング、化学、新素材、システムソリューションの各事業
従業員数（連結）	84,837名（平成28年3月31日現在）
上場証券取引所	東京、名古屋、福岡、札幌
証券コード	5401
発行可能株式総数	2,000,000,000株
発行済株式の総数	950,321,402株（平成28年9月30日現在）
株主数	488,727名（平成28年9月30日現在）

株主構成（平成28年9月30日現在）



大株主の状況（平成28年9月30日現在）

氏名又は名称	持株数（千株）	持株比率（%）
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	37,614	4.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	25,359	2.7
日本生命保険相互会社	24,532	2.6
住友商事株式会社	18,269	1.9
株式会社みずほ銀行	16,299	1.7
株式会社三井住友銀行	14,647	1.5
明治安田生命保険相互会社	13,960	1.5
株式会社三菱東京UFJ銀行	13,655	1.4
THE BANK OF NEW YORK MELLON SA/NV 10	12,052	1.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口ア）	11,814	1.2
計	188,206	19.8

■ 新日鐵住金グループ企業理念

基本理念

新日鐵住金グループは、常に世界最高の技術とものづくりの力を追求し、優れた製品・サービスの提供を通じて、社会の発展に貢献します。

経営理念

1. 信用・信頼を大切にするグループであり続けます。
2. 社会に役立つ製品・サービスを提供し、お客様とともに発展します。
3. 常に世界最高の技術とものづくりの力を追求します。
4. 変化を先取りし、自らの変革に努め、さらなる進歩を目指して挑戦します。
5. 人を育て活かし、活力溢れるグループを築きます。

株式事務の取扱いについて

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
定時株主総会の基準日	3月31日
剰余金の配当の基準日	3月31日、9月30日及びその他取締役会が定める日
単元株式数	100株（平成27年10月1日より100株に変更致しました。）
電子公告を掲載するウェブサイト	http://www.nssmc.com/
定款及び株式取扱規程	当社ウェブサイトの「株主・投資家情報」に掲載しています。
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
株主名簿管理人事務取扱所 (郵便物送付先、電話照会先)	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 当社株主様専用ダイヤル 0120-785-401（フリーダイヤル） 株主名簿管理人代表電話 0120-782-031（フリーダイヤル）

●住所変更、単元未満株式の買取り・買増しのお申出先

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払い

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●単元未満株式の買取り・買増しに係る手数料

別途定める金額（当社ウェブサイトの「株主・投資家情報」に掲載していますので御参照ください。）

株式に関する「マイナンバー制度」の御案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先は以下のとおりです。

- ◆証券口座にて株式を管理されている株主様：お取引の証券会社までお問い合わせください。
- ◆証券会社とのお取引がない株主様：三井住友信託銀行(株) 証券代行部 0120-785-401（フリーダイヤル）

新日鐵住金株式会社

〒100-8071 東京都千代田区丸の内二丁目6番1号

TEL:03-6867-4111(代表)

ウェブサイト：<http://www.nssmc.com/>



環境に優しい「植物油インキ」を使用しています。

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。